

城北コミュニティセンター市長懇談会

○日 時：令和元年 7 月 19 日（金） 午後 3 時 30 分～5 時 00 分

○場 所：城北コミュニティセンター

○参加者：17 名

○担当者：市長 梶 正治

地域担当職員 平尾（議会事務局） ・ 佐久間（高齢者支援課）

森（教・総務課） ・ 山田（健康課）

1. 会長あいさつ

年に 1 度開催されるこの市長懇談会では、我々の意見を市が真摯に受け止めてくださっています。いろいろな問題が次々と出てきますが、城北校区としては住みよいまちづくりを考えていますので、皆さんも忌憚のない意見をお願いします。

2. 市長あいさつ

今日で学校も終わり夏休みに入りますが、暑い中この城北地区の市長懇談会を開催していただきありがとうございます。地域の様々な課題を聞かせていただく機会ですので多くのご意見をいただきたいと思えます。

3. 地域担当職員紹介

4. 丸亀城石垣復旧に向けて（市長）

丸亀城は昨年 7 月、西日本豪雨の影響で帯曲輪の一部が崩落した。最初の崩落からちょうど 1 年経った先日 7 月 7 日にこれまでの経過、今後のことなどを説明する市民報告会を開催した。

7 月そして 10 月と崩落したが、復旧面積は 2,630 m²、費用は最大でおよそ 35 億円かかると見込んでおり、令和 5（2023）年度末には終えたいと考えている。まず土砂崩れがこれ以上広がらないよう、梅雨に入る前に応急対策工事を終えている。今後 1 年半ほどかけて、調査もしながら石を全て取り除く。その後 2 年半から 3 年位かけて下から順に昔どおりに組んでいく。崩落のメカニズムもだんだんとわかってきている部分もあるが、今後工事を進めていく中で新たなことがわかってくるのではないかと考えている。ここは地盤の弱い部分で、山崎氏時代でも手が加えられた場所であった。

なぜ崩れたかという点、土の中に溜まる水の絶対量が一定限度を超えた場合は、支えきれない状態が起きる。石垣の内側でも同じようなことが起こり、帯曲輪の石垣が外側に向けて倒れた。下側が崩れると上側は地滑り状態で滑って落ちたと、今のところは推測している。

組織体制としては、崩落したその日のうちに対策本部を作り、議会でも特別委員会を作ってください全庁を挙げた体制で取り組んでいる。

崩落以降、寄附金、募金をたくさんいただいております、3億1,150万円という今までなかったような寄附が集められ、ありがたく思っている。今後このようなことが起こらないように丸亀城全体が災害に強い城になるようにしたい。

5. 懸案事項

(1) 平山児童遊園の有効活用について

(会長)

平山児童遊園について地元としては公園として残したいが、コミュニティセンターの駐車場が他のセンターと比べても狭いので、駐車場への改修をお願いしたい。昨年センター北側に12、3台の第二駐車場を整備していただいたが、やはり不足している。平山児童遊園を旧平山保育所の運動場に移していただき、現在の公園を駐車場、そしてコミュニティの災害時用などの倉庫を整備していただきたい。

(市長)

旧平山保育所は解体し、そこに公園を移したいと考えている。そうすれば現在の公園は他の用途に使えると思うので、駐車場や倉庫に使うことは可能ではないかと思っているので、担当部署にはそのように指示をする。

(会長)

城北幼稚園は2年間は申請をすれば使わせてもらえると聞いているが、その後、市はどのようにする予定であるのか。

(市長)

現段階では具体的に決まっていない。城北幼稚園は解体するとも決まっていないが、旧平山保育所もあわせて地域で相談してもらい有効活用できるのであれば検討したい。

(2) 東汐入川けんこう公園について

(所長)

城北幼稚園跡地についてもそうだが、市長懇談会ではいい返事をもらえるが、結果とし

てやはりできないと言われることが多いので、よろしくお願ひしたい。

けんこう公園は、およそ 170 ある市内の公園の中でもかなりいい公園だと思う。駐車場、遊具も整備され、城北地区だけでなく他の地区からもたくさんの方が来ている。今年の夏も暑い日が続くと思うが、あずまやの日陰が若干あるだけで木陰もない状況であるので、ベンチの上に屋根をつけてほしい。

また去年からセアカゴケグモが発生しているので対応をお願ひしたい。

(市長)

けんこう公園は整備に際し、地元の方々とも協議をさせていただき、地元要望として高木は植えない方針で整備をした経緯がある。またベンチの屋根は地元の要望があるならば、可能なところからやりたいと思う。現在どのような状況であるのかは担当に確認する。

セアカゴケグモは今のところ対症療法しかない。情報提供等これからもお願ひしたい。

(女性)

地域住人、特に近くの住人から言わせてもらえば屋根は必要ない。夜に大人、子ども含めて騒ぐ人が多くなる。熱中症を考えている人はテントを持ってきて、その中で水分を取るなどしている。近くの住人の要望としては屋根はつけてほしくない。

(男性)

夜に騒ぐ人がいるということで防犯カメラの設置はどうか。

(市長)

防犯カメラは地元の要望をまとめていただいた上で設置するということが今の考え方である。まず具体的にここにつけてほしいという相談をしていただきたい。

(会長)

暴走族や浮浪者などもいるので防犯カメラはお願ひしたいが、地元が設置するための補助金を市が出してくれて、電気代を市が持ってしてくれるのか。

(市長)

確かそのような運用であったと思うが、確認する。

(3) コミュニティ活動の担い手について

(男性)

役員の高齢化あるいは自治会の加入率低下等により、担い手づくりに苦慮していることで、すべてのコミュニティ活動に支障が出ている。今年で 14 年になる城北防犯パトロール部隊は毎日登下校時に子どもたちの通学を見守っているが、150 人いた隊員も今は 73 人になった。他の地域での良い事例があれば紹介していただきたい。

(市長)

役員の高齢化あるいは自治会の加入率低下により、担い手づくりに苦慮していることは、どこの地域も共通した課題である。

そのような中で市では、昨年度『自治会加入推進員』を配置し、今年度は『自治会活動応援補助金』を新設した。加入率向上を含む自治会活動支援を通して担い手づくりに寄与できれば、と考えている。そして今日もここにいるが地域担当職員制度を導入し、市の職員も地域の中に入って地域の活動に積極的に参加するという仕組みを作った。

また学校との関わりでは地域コーディネーターの養成を行っている。城北にはいいコーディネーターが来てくださっていると思うが、学校ボランティアや安全パトロールにPTAの方などを誘い込むなどの方法しかないと思う。例えばコミュニティセンターのまちライブラリーに地域のボランティアとして参加してもらうなど、新しい人材の発掘につながる取り組みに対して市としては支援をしたいと思っている。

6. 自由討議

(1) 生涯学習について

(男性)

78の生涯学習クラブがある。高齢者の生きがい活動になっている。生涯学習センターを取り壊し、市民会館を建設する計画であると思うが、具体的な内容についてよくわかっていない。生涯学習クラブの意見を聞いてくれるのか。生涯学習センターがなくなったからコミュニティセンターでやってくださいというのでは困る。

(市長)

大手町4街区の再編整備ということで、市庁舎と市民活動交流センターは来年の今頃には建物が見えてくる。その使い方については現在議論している。生涯学習センターは取り壊し、新しい市民会館を建設する方向であるが、それまでの間の生涯学習活動の場として、現在の市役所の南館を使用することを考えている。それらの使い方については関係者との協議の場を設けるように担当に申し伝えておく。

(2) 避難所について

(男性)

城北校区の避難所は城北小学校になっているが、城北校区の南の端の住人は東中学校を越えて小学校に来なければならない。東中学校も避難所に指定できないか。市の職員の人数の関係でそうなっていると聞いている。県道33号から南は海拔も高くなっている。ぜ

ひ東中学校も避難所に指定していただきたい。

(市長)

職員が足りないからということではない。地域担当職員の防災担当も含めて地域の防災計画を策定する段階できめ細かく決めていただければ対応も可能ではないかと思う。鍵を開けて避難所を開設し職員を配置することになるが、地理的に何か所も開けることが合理的であるかどうかは考えなければならない。実際避難所を開設しても利用する人は少ない。

(男性)

城東町や土居町では東中学校の方が近い。以前に水防本部に聞くと、あなたの所の避難所は土器コミュニティセンターになっている、東中学校は開けないと言われた。近くに立派な東中学校の体育館があるのに高齢者に遠くの避難所まで行けというのはどうかと思う。高齢者や障害者に配慮して、実態にあった避難所を選んでいただきたい。

(市長)

土器コミュニティセンターに行けと言った経緯はわからないので確認し回答する。

災害も土器川の氾濫や大雨による浸水など状況によって変わってくるので一概には言えないと思う。その時にはその時の状況から判断してそのように言ったのではないだろうか。土器川が氾濫しているときに土器川を越えて土器コミュニティセンターに行け、というのはありえない。地域で防災計画、避難計画を決めていく中で整理していきたいと思う。

(所長)

避難の警戒レベルが1から5というように変わり、先日鹿児島でレベル4が出た時に全員が避難できるようになっていなかった。丸亀でもそのような状況になったときに対応できるよう、東中学校も避難所に指定しなければならないのではないか。

(市長)

避難勧告をしても実際に避難する人は少ないという問題である。丸亀市全域で避難勧告を出して、11万人が避難できる避難所を準備しなければならないかという、それは現実的ではない。そこはやはり実態に合わせて、東中学校があるのに避難できないということは不合理だというならばできるようにするなど、現実的な検討は必要である。

避難勧告を出す場合、市としてはできるだけ地域を限定するようにしたい。市内全域で出せば責任逃れはできるが、実態にあったものするという方向で考えている。

(男性)

去年、大雨で避難準備情報が出たときに危機管理課に避難所はどこかと聞くと、城北小学校だと言われた。雨が降っているので遠くて行けないと言うと土器コミュニティセンタ

一でもいいですよ、と言われた。東中学校も避難所に指定されていることを言うと、危機管理課で東中学校は地震の時だけの避難所で大雨のときの避難所には指定していないと言われ、はじめてそのことを知った。避難準備情報など出た場合、一般の人はハザードマップを見て東中学校も避難所になっていると思って東中学校に行くと思う。地理的な問題また職員数の問題もあるとは思いますが、東中学校に避難したいと言う人は多いので、ぜひ東中学校を避難所として開けるよう検討していただきたい。

(3) 買い物支援について

(男性)

城北地区は高齢者が増えている中で、スーパーマルナカ平山店がなくなって久しい。全国的に高齢者の自動車事故も増えていることも買い物支援の必要性について関連がある。市としても買い物支援に力を入れていただきたい。

(市長)

スーパーも儲からないから撤収したのだと思う。移動販売は現在島しょ部のみが行っている。まちなかのこの城北地区でさえそれを考えなければいけない時代になったのかと課題として認識している。業者としてもある程度の需要を見込めないとやらないと思うが、生協（コープ）はもともと買い物困難者のために宅配をしているので利用していただきたい。

一方では地域の中で買い物だけではないが、高齢者の移動支援の方法についてモデル事業を行っている。

(男性)

善通寺市はコミュニティバスとは別に、社会福祉協議会が週に2回高齢者をワゴン車で買い物に連れて行くという事業をしていると聞いている。運転手はシルバー人材センターに頼んでいるようで、地域の高齢者は喜んでいるとのことである。

(男性)

高齢者の免許証自主返納のサービスのお金をこのようなサービスに回せないものか。

(市長)

高齢者の事故が多いという観点で返納を促す制度で、一方で返納した後の移手段をどうするかということでコミュニティを中心とした移手段を、今4つぐらいのコミュニティで検討してもらっているのだが、運転しようと手をあげてくれる人が75歳以上の人が多いので、苦慮している。地域でなんとか助け合っていける方法を考えざるを得ない状況である。

(会長)

関連して、コミュニティバスを利用しやすくできないか。城北校区では停留所を二つ増やしてもらった。他の自治体と比べてバスが大きすぎる。丸亀のあるタクシー会社に確認すると9人乗りのタクシーが3台あるとのこと。小さいバスを採用すれば城北コミュニティセンターのような狭いところでも集合して乗っていくことも可能だと思う。今のコミュニティバスは朝夕の時間以外は無駄な走りが多い。小型のバスの検討はできないか。

(市長)

問題は運転手をどう確保するか。運転する時間を増やさない限り、路線は増やせない。小型車両を活用して別の路線を増やすことが可能かどうか、それでこの問題が解決するかは難しいのではないか。

(会長)

買い物支援でコープの話も出たが、コンビニのローソンも、市が積極的に協力しデータを取ってもらい需要がわかれば前向きに検討したいと言っている。

(市長)

コンビニも宅配をしているが、マーケティングをし、一定の人口があり需要が見込めれば成り立つ。採算を度外視してやっていただけるのがコープで、実際にやっているのだから活用していただきたい。コンビニから新たに相談があればもちろん検討させてもらう。

(4) 松屋町の道路について

(女性)

松屋町のアーケードがあったときは高齢者がよく散歩をしていたし、病院関係の施設もありリハビリの道路でもあった。今はホテルの建設中で、工事車両の通行の道路になっており、危険を感じている。この道路はこれまでの工事によって傷み、雨が降ると水溜りがたくさんできる。工事がすべて終わった後のことを市は考えてくれているのか。これまでも市に要望しているが、工事業者に対する指導をお願いしたいし、そして丸亀市として松屋町を元に戻す計画を立てていただきたい。

(市長)

建設会社また工事を発注している会社とも相談してみるが、道路をどうするかは責任は市にあるので、工事が終わった後、松屋町の通りをどうするかというのは地元の要望を聞き、相談させていただきたいと思う。

(5) 土器川一斉清掃等について

(男性)

城北幼稚園は今後2年間は使用しないということなので、樹木などの管理体制をしっかりとお願いしたい。

7月7日の河川月間では土器川の一斉清掃で動員がかかるが、堤防の管理は国か市かわからないが、できるだけ事前に草刈りをお願いしたい。

(市長)

ご協力いただきありがとうございます。草刈りは国・県・市の課題である。タイミングが非常に難しいが、できれば一斉清掃の前にやれるよう協議してみる。

(会長)

一斉清掃のときに草の中に入ろうとしている人がいたが、毒蛇がいるかもしれないと思ったので止めた。市に一斉清掃前に草刈りをしてもらうように話をするので今年は手を出さないように話した。草刈りをすればあの中にはペットボトルなどのごみがたくさんあると思うのでぜひお願いしたい。

(6) 資源ゴミの外国人対応について

(男性)

資源ゴミのときに外国人だと思いがルールを守ってくれない。外国人の対応について検討をお願いしたい。

(市長)

外国人にもわかるような周知をしていきたい。

城北コミュニティセンター市長懇談会の質問・意見等に対する回答

● 東汐入川けんこう公園の防犯カメラ設置について

東汐入川けんこう公園で夜に騒ぐ人がいる。暴走族や浮浪者などもいるので防犯カメラはお願いしたいが、地元が設置するための補助金を市が出してくれて、電気代を市が持つてしてくれるのか。

(回答：環境安全課)

地域の防犯活動を目的として、自治会等の住民団体による新規の防犯カメラの設置につきましては、「香川県警察防犯カメラ設置促進補助事業」を活用していただくようになります。補助金の対象は、防犯カメラの購入及び設置費用の3分の2以内（上限20万円）となり、電気代等は含まれません。詳しくは、香川県警のホームページ（香川県警察本部生活安全企画課）に掲載されていますので参考にしてください。

なお、今年度から環境安全課が、更新しております防犯カメラにつきましては、平成22年度より香川県警察本部が、地元と本市の3者協定により設置した防犯カメラの耐用年数が経過したため、現在の防犯カメラを撤去し、新規で設置をしておりますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

● 東中学校を避難所として活用することを要望する

去年、大雨で避難準備情報が出たときに危機管理課に避難所はどこかと聞くと、城北小学校だと言われた。雨が降っているので遠くて行けないと言うと土器コミュニティセンターでもいいですよ、と言われた。東中学校も避難所に指定されていることを言うと、危機管理課から、東中学校は地震の時だけの避難所で大雨のときの避難所には指定していないと言われ、はじめてそのことを知った。避難準備情報など出た場合、一般の人はハザードマップを見て東中学校も避難所になっていると思って東中学校に行くと思う。地理的な問題また職員数の問題もあるとは思いますが、東中学校に避難したいと言う人は多いので、ぜひ東中学校を避難所として開けるよう検討していただきたい。

(回答：危機管理課)

風水害等の場合における本市の指定避難所の開設にあたっては、あらかじめ定められた計画を基本に、避難勧告等の避難情報の検討状況を受けて決定しています。洪水、土砂災害、高潮等、想定される被害に応じ、対象となる地区を念頭に、各コミュニティ地区単位に最低1箇所ずつ指定避難所を開設し、その後の状況に応じて対応することとしています。

城北地区の場合は、平成29年度や平成30年度実績で申し上げますと、城北コミュニテ

ィセンターや城北小学校を指定避難所として開設しております。今後も、このどちらかを地区に最初に開設する指定避難所とする方針です。また、避難情報を発信する際には、開設している指定避難所を併せて通知し、避難される方が戸惑うことのないよう努めています。

城北地区で開設している指定避難所が、ご自宅から遠い場合等は、他の地区のより近い指定避難所に避難するか、あらかじめ早め早めの避難を実施いただき、身の安全を確保いただきますようお願いいたします。

(再) 城北コミュニティセンター市長懇談会の質問・意見等に対する回答

● 平山児童遊園の有効活用について

平山児童遊園の有効活用案として、駐車場への改修を望む。

取り付けスケジュール等を示してほしい。

(回答：市民活動推進課)

駐車場につきましては、昨年、城北コミュニティセンター北側の土地を購入し、14台分確保したことから、通常の施設利用については、支障をきたしてはいないと認識しております。

つきましては、平山児童遊園について、当面は現状維持とさせていただきたいと思っておりますので、ご理解の程、何卒宜しくお願い致します。

● けんこう公園のベンチの屋根設置について

けんこう公園には、木陰や物陰が少ないので、ベンチに屋根等の設置を望む。

要望としては、頑丈で高価なものは反対、簡易的でしっかりしたものなら納得する。

取り付ける方向でスケジュールを示してほしい。

(回答：都市計画課)

けんこう公園につきましては、整備に際し、地元の方々とも協議をさせていただき、地元要望として、高木については植えない方針のもと、整備をさせていただいた経緯がございます。その結果、木陰の少ないオープンなスペースとなっておりますが、公園内には若干ながら防災あずまやなどの日陰もありますことから、現時点でこれ以上のハードの整備は考えておりません。

市では現在、身近な公園が少ない他の地区からも要望をいただき、できるところから少しずつ整備をすすめていこうとしています。限られた予算のなか市全体のバランスを考えながら取り組んでおりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

● 避難所について

東中学校を避難所にしてほしい。

危機管理課には、東中学校は地震の時だけの避難所であり、洪水・高潮の時は指定避難所ではないと言われた。

調査してみると、丸亀市洪水ハザードマップでは、東中学校は指定避難所に指定されているので、再度検討してほしい。

(回答：危機管理課)

東中学校は、災害対策基本法第 49 条の 4 に定める本市の指定緊急避難場所であり、同法第 49 条の 7 に定める指定避難所です。災害が発生するおそれがある場合や災害が発生した場合に、避難勧告等を発令した際緊急的に避難する施設・場所が指定緊急避難場所であり、災害発生後に被災者が一定期間生活する施設が指定避難所です。

本市では、台風接近時、風水害からの避難場所として、災害のリスクが低い（洪水や高潮災害の場合には浸水想定区域外である、もしくは構造が丈夫で想定水位以上の高さを有し避難できるスペースがある）指定避難場所の中から、避難施設の滞在環境（避難された方が施設を利用する上での快適さ）や過去の避難実績（どのくらいの方が避難してくるか）等を考慮し、優先的に開設する施設を予め決定しています。城北地区では、城北小学校がこれにあたります。

従いまして、風水害等で城北地区を対象に避難勧告等を発令した場合、避難する先として最初に開設するのは城北小学校となります。もちろん、東中学校も指定緊急避難場所・指定避難所でありますことから、災害の状況等に応じ、避難先の施設を増やしていく段階では、開設の対象となることも考えられますが、あくまでも優先的に開設する施設とはしておりません。

城北地区の市民の皆様におかれましては、このことを念頭に、ハザードマップ等でご自宅の位置を確認いただく等、ご自身やご家族の避難計画等を立て、適切な避難行動を実施していただきますようお願いいたします。